

第8回 明大昆虫セミナー

都市近郊農業の魅力と環境にやさしい害虫管理 ～ブドウとナスの IPM 事例～

柴尾 学 氏

(大阪府環境農林水産総合研究所)

日時：2010年12月6日(月) 16:30頃～18:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0405 教室

害虫防除において「農薬使用量の低減」が求められる理由は様々です。消費者にとっての「安全・安心」や生産者にとっての「労力とコストの削減」だけではなく、それぞれの地域には地域なりの事情もあるのです。例えば、都市近郊の住宅地に隣接する田んぼや畑では、殺虫剤をモクモクと噴霧する訳にはいきませんよね。

今回のセミナーで講演して頂く柴尾氏は、日本の代表的な「都市」である大阪府の農業現場で活躍する研究者です。大阪府における都市近郊農業の実態を紹介して頂くとともに、ブドウとナスを対象とした IPM (総合的害虫管理) の事例を紹介して頂きます。具体的には、天敵を利用したハダニ類の防除、フェロモン剤を利用したハスモンヨトウの防除、土着天敵にやさしい殺虫剤を使用したチャノキイロアザミウマの防除、マイナー害虫対策、ミナミキイロアザミウマの薬剤抵抗の実態と天敵を利用した防除事例など、本当に盛り沢山の内容です。興味のある方は、是非ぜひご参加下さい。

問い合わせ：

農学部 応用昆虫学研究室 糸山享

(5号館 208、内線 7810)